



10の秋
武蔵野

竜ヶ沢ダムから望む山々

地域自治センターだより

平成21年/2009
11.16 | No.16 |



とどろけ！南中魂
紫苑祭



イメージキャラクター「イナスマン」



— 全校生徒の頑張りを雷鳴のようにとどろかせ、光り輝く紫苑祭にしよう！

そんな思いがこめられた依田窪南部中学校の第37回紫苑祭。1日目の10月2日には意見文発表や吹奏楽部の演奏、運動会、2日目の3日にはステージ発表や合唱コンクールが行われました。

吹奏楽部はこの演奏を最後に3年生が引退とのこと。アンコール曲演奏後の全校生徒からのねぎらいのかけ声に思わず涙する生徒の姿も見られました。

また生徒会企画で行われた「運動会」と「フリーステージ」。運動会は、雨のため残念ながら体育館での開催になりましたが、生徒たちは総力リレーや騎馬戦などで元気に走り回っていました。

フリーステージでは、3グループが金管楽器や太鼓の演奏などを披露していました。

生徒たちのあふれるパワーやほじける笑顔、そしてクラスの団結力。熱い南中魂を感じた2日間でした。

熱気と笑顔に包まれた 第31回 武石体育祭



前日までの天候不順が嘘のように晴れ渡った10月4日。武石総合グラウンドで第31回武石体育祭が行われました。競技は、恒例の綱引きやむかで競争、年代別リレーや大玉送りなど。各分館で力を合わせ、グラウンドを駆けめぐったり、大きな声援を送ったり。会場は、選手たちの熱気と輝く笑顔であふれていました。

農作業の忙しい時期ではありますが、地域の人たちがふれあい、思う存分体を動かして、笑いあえるってすばらしいですね。



1分館対抗綱引き。みんなで気持ちを合わせて**2**ダルマを落とさないように！人命救助
3「がんばって～」かわいい応援団**4**小学生全員リレー。1～6年生でバトンをつなぎます
51、2、1、2…気持ちをひとつに。むかで競争**6**保育園児の元気なダンス**7**すてきな仮装で体育祭を盛り上げてくれた下本入分館**8**子どもも大人も力を合わせて「負けないぞー！」

日本一の草駅伝を目指して 第20回 ともしびの里駅伝大会

特別ゲストの丸山訓代さんと
聲山アナウンサー



大会結果

- 優勝 ^{ムチンガ} MJINGA／上田市
(1時間19分31秒)
- 準優勝 松本自衛隊A／松本市
(1時間23分01秒)
- 第3位 練馬区EKIDENチーム／
東京都練馬区
(1時間24分21秒)
- 第4位 東御陸上教室／東御市
(1時間24分44秒)
- 第5位 友遊会ドリーム／小諸市
(1時間24分59秒)
- 第6位 Go Go G-Zero／愛知県豊田市
(1時間25分41秒)
- 練馬区長賞(武石地域から参加の最上位チーム)
JA信州うえだ競走部A
(1時間37分58秒)

紅葉鮮やかな武石の里を走るともしびの里駅伝大会が10月25日に開催されました。今年は20回記念として、開会式などの総合司会に下武石出身で現在SBCテレビで活躍中の聲山美耶子アナウンサーを迎えて開催されました。県内外から参加した86チームが、ともしび博物館前を午前10時30分にスタートし、全長25.1kmをランナー7人でつなぎ、健脚を競い合いました。自治センター周辺では、焼き鳥やうどんなどの売店、丸子北中学校吹奏楽部の皆さんのコンサートも行われ、多くの選手や応援者でにぎわった一日でした。



武石産の農産物が当たるお楽しみ抽選会



聖火ランナーは長和町から参加の「バスケットクラブC4」の皆さん

地域の皆さんに支えられて

地域のボランティア活動

第20回ともしびの里駅伝大会を前に、さまざまな団体によるコース沿いの草刈りや道路清掃などのボランティア活動が行われました。大会は、毎年多くの皆様のご協力により支えられています。紙面をもって厚く御礼申し上げます。

▼武石高齢者クラブ

9月25日、奉仕活動の一環として権兵エ川沿いのフラワールードの手入れを実施。

▼上田市職員労働組合

(武石地域の市職員)
10月8日、ともしび博物館から武石新橋までの県道沿いの草刈りを実施。

▼武石建設業協会

10月16日、コース沿い全般の草刈り、道路清掃を実施。大会前のこのボランティア活動も今年で10年目とのこと。



武石建設業協会の皆さん約20人による草刈りと道路清掃



各地区の高齢者クラブの皆さんによる草刈り

子檀嶺神社 御柱山出し祭

小沢根^{こまゆみね}の子檀嶺神社の御柱祭を
来年4月11日に控え、11月8日
に御柱山出し祭が行われました。

天候にも恵まれたこの日、ご神
木のある小沢根保代地区の山林で
は、午前8時から斧入れ式が行わ
れ、子檀嶺神社の氏子の皆さんや
各種団体の関係者など約200名
が参列しました。式終了後、^{おのかた}斧方
の皆さんの手によってご神木が切
り倒され、その場で御柱に仕上げ
られると、里曳きが行われる上武
石まで運び出されました。

午後2時、里曳きに先立って、
祭りの成功と安全を祈願して上武
石公民館前で鏡割りが行われ、そ
の後、木遣りの威勢のよい掛け声
とともに、上武石公民館から信広
寺横の御柱安置場まで約1.5km
にわたる里曳きが始まりました。
子どもからお年寄りまで400人
ほどの曳き手の皆さんは、元気に
御柱を曳いていました。上田市消
防団第八方面隊のラッパ手の軽快
な吹奏も祭りを盛り上げていまし
た。途中振る舞われた御神酒の力
も手伝い、順調に進んだ里曳き。
日が沈み、すっかり暗くなった午
後5時30分。御柱が安置場に到
着すると参加者から歓声がわき上
がりました。

【ご神木】

小沢根保代地区にある赤松
樹 齢 85年
幹まわり 約2m
長 さ 約14m
重 さ 約3t



武石公民館だより

No.16

〒 武石公民館 Tel 85-2030

文化と食を楽しむ ともしびの里文化祭 & ともしび茶会

10月31日、11月1日の2日間、第38回ともしびの里文化祭が開催されました。武石公民館には、武石で活動している31団体の皆さんが制作した盆栽や生花、陶芸、絵手紙、絵画、書道などたくさん作品や、保育園児や小中学生の絵画や習字、特養ともしびやデイサービスセンターやすらぎの皆さんの作品が展示され、訪れた皆さんの目を楽しませていました。信州せいしゅん村や武石生活改善グループ、武石スポーツクラブの活動なども紹介されました。



文化祭に合わせて10月31日に開催されたJ Aフェスティバルや「決定!! 武石井グランプリ」には多くの人が集まり、武石の食材を使った料理や農産物を満喫していました。また、ともしび博物館では11月1日にもしび茶会が行われました。訪れた人は、鮮やかな紅葉の中、やまぶきの会と茶道教室九期生の皆さんのお点前を楽しんでいました。同日から灯火にまつわる版画展も開催され、11月23日まで楽しめます。



委員による現地視察

●武石全域公園化について
武石全域公園化に向けて、二つの部会にわかれ協議を行いました。地域振興部会では、「公園化構想は、地域協議会が中心になって目的や理念を掲げ、地域住民に働きかけていきたい」など、主に公園化構想の理念について協議が行われました。市民生活部会では、地域住民が心とむような地域づくり（公園化）が望ましいとし、地域に植栽する花木など公園化に向けた具体的な取組内容について協議が行われました。

第6回 9月10日開催

第7回 10月21日開催

武石地域協議会 活動日誌

No.16

〒 地域振興課 Tel 85-2824

●武石全域公園化について

会議に先立ち、公園化に向けたイメージ作りのため、委員による地域内の現地視察が行われました。唐沢のあじさい・福寿草や大布施のみみじ、小沢根川沿いの桜並木や余里の花桃など現在ある地域資源を見て回ったあと、全体協議が行われました。

●交流・文化施設整備についての報告

（交流・文化施設建設準備室）
交流・文化施設整備検討委員会が8月に市長に提出した最終報告について報告がありました。最終の検討結果報告書は、検討委員会の中間報告に対して、市民から出された財政面や多目的ホールの規模・機能に対する意見なども反映されているとの説明がありました。



丸子警察署からのお知らせ

長野県警察の組織再編整備計画（案）

長野県警察の組織再編整備計画は、原案を5月に公表して以来、パブリックコメントや住民説明会などでいただいた貴重なご意見、ご要望を踏まえ検討し、9月11日、成案を公表しました。

上小地域については次のとおりで、12月県会に条例改正案を提出し、来年4月の実施を予定しています。

上小地域



依田窪庁舎の体制



概要

- 丸子警察署、望月警察署の一部を上田署に統合し、新上田警察署は警察官数202人の警察署となります。
- 丸子警察署の庁舎は、上田警察署「依田窪庁舎」とし、警部交番所長以下7人の「丸子警部交番」を設置します。また、警察官7人に加え、交番相談員と運転免許更新事務等担当職員2人を配置し、運転免許証の更新、車庫証明等の事務を引続き行います。
- この他、依田窪庁舎には警察本部自動車警ら隊等の本部執行隊18人を配置し、「上小地域警察機動センター」として運用します。
- 現在の7駐在所（丸子地域3、武石地域1、長和町3）は引き続き配置します。



たけしの話題

「たけしの話題」をお寄せください！

築地原分校跡地へ歌碑が建立

築地原自治会



昭和43年に閉校した築地原分校跡地（現、上本入生活改善センター）に、月刊の歌誌『短歌新潮』編集・発行責任者で歌人、小山豊さん（上小寺尾出身・長野市篠ノ井在住）の歌碑が建立され、9月8日に会員など関係者約150名が集まり、完成除幕式がありました。歌碑には小山さんの歌『遙けくも我等^{はるけ} 学びし 分校の 跡に桜咲き^{うけす} 鶯きこゆ』と歌の解説文や分校の写真が刻まれています。久しぶりに訪ねた懐かしい分校の跡地で、閉校から40年を経過した今でも、当時の面影を残し、自分を迎えてくれているような満開の桜と鶯の声に、小山さんが心から感激した思いが詠われています。地元、築地原自治会では今後、歌碑の周りに季節の花々を植えるなどして大切に守り、新たな武石の名所になればと期待しています。



美ヶ原高原のお花畑復活を目指し3年目を迎えた笹刈りが、9月23日に行われました。当日は霧の中、上田市・松本市・長和町から市民ボランティアら約500人が参加し、美ヶ原自然保護センター周辺と物見石周辺のレンゲツツジ植生地に生い茂った笹を草刈り機や鎌で刈り取りました。

笹刈りは、数年続けると笹の勢いが弱まるようです。来年は、ツツジやヤナギランなどのお花畑がさらに広がるといいですね。



美ヶ原をふたたびお花畑に

練馬の子どもたちと交流会

武石小学校5年生と練馬区立光ヶ丘第二小学校5年生の交流会が10月8日に行われました。恒例の交流稲刈りは、残念ながら台風の接近により中止。体育館での武石小全校生徒との交流会の後、両校の5年生が混ざり合って5人ずつのグループを作り、伝言ゲームやふるさとカルタなどのレクリエーションが行われました。最初は緊張した様子でしたが、時間が経つにつれ、打ち解けてきた子どもたちはカルタに夢中！その笑い声が体育館に響いていました。



▽隠れた名所!?「紅葉橋」
大布施栗自治会では、わがまち魅力アップ応援事業の採択を受け、以前からもみじがきれいであった大布施橋周辺の整備に取り組んでいます。



武石の
花だより

大布施の
もみじ

10月中旬～。大布施橋
周辺のもみじが色鮮
やかに染まります。

花言葉
大切な
思い出